

地震ゆれやすさマップ

福岡県が実施した「地震に関する防災アセスメント調査報告書」（平成24年3月）の中で、糸島市の被害が最も大きくなるものは、警固断層の南東部が破壊された場合に発生する地震で最大で震度6強と予測されています。同じ地震でも地盤の状況によりゆれやすさは異なります。地盤の状況とそこで起こりうる地震の両面から地域のゆれやすさを震度として評価したものが、ゆれやすさマップです。

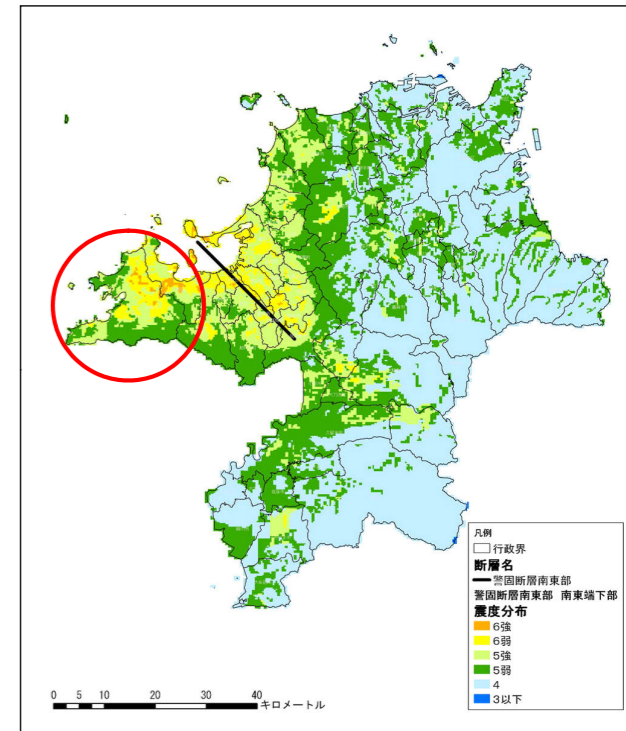
あなたの住んでいる地域はどのくらいのゆれの強さになるのか確認してみましょう。
※この地図に示しているゆれの強さは、あくまでも想定です。地震の規模や発生の方角により、ゆれの強さはこれより強くなったり、弱くなったりすることがあります。

震度 4	●歩いている人のほとんどが揺れを感じる。 ●電灯などのつり下げ物が大きく揺れる。 ●座りの悪い置物が、倒れることがある。 ●電線が大きく揺れる。	震度 6弱	●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ●ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
震度 5弱	●大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ●棚にある食器類や本などが落ちるものがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	震度 6強	●はわないと動くことができない。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多い。
震度 5強	●物につかまらないうち歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本などが落ちるものが多い。 ●補強されていないブロック塀や据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。	震度 7	●揺れにほんろうされ、動くこともできず飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが倒れたりし、飛ぶこともある。 ●耐震性の高い木造建物でも傾くことがある。

■市域の最大地震想定の設定

想定震源断層	警固断層南東部
震源断層の位置	福岡市～筑紫野市
震源断層の深さ	2.0～17.0km
震源断層の幅	15.0km
震源断層の長さ	27.0km
マグニチュード	7.2
断層の破壊開始点	断層南東下部
断層の傾き	垂直

※糸島市地域防災計画より抜粋



※地震に関する防災アセスメント調査報告書より抜粋

◆地震発生！そのときどうする？◆

落ち着いて行動するために、行動パターンを覚えておきましょう。

